

県民の森 だより

4 2019
月号



岩切城址のエドヒガン(昨年)

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

カタクリは先月 20 日頃から咲き始め、園内のカタクリ開花前線は、日々北上し四季の森へと向っています。県内でもサクラの開花宣言がなされましたが、園内は少し遅れた開花宣言となり見ごろは中旬頃になると思われます。

猛威を振るったスギ花粉も次第に少なくなり、快適に園内の散策を楽しめる季節になりましたので、日々変化する園内の散策をお楽しみください。(所長：蜂谷仁)

やっとならくなってきたよ...



観桜期交通規制にご協力下さい

観桜期土・日・祝日の9時～17時まで、岩切城～青少年の森間が一方通行となります。今年は2019年4月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)の6日間が一方通行となります。皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。



閉館時間・駐車場利用時間のお知らせ

4月1日(月)から閉館時間・駐車場のご利用時間が9時～16時30分までとなります。時間の許す限り、園内を存分にご利用下さい。なお、遊歩道内は自転車・バイクの乗り入れは禁止ですのでご注意ください。

10連休中の駐車場・園内ご利用について

4月27日(土)～5月6日(月)の10連休中は、駐車場・園内の混雑が予想されます。満車の際は路肩に駐車頂けますが、道幅の細い箇所には駐車禁止のカラーコーンを置いております。大変ご不便をお掛け致しますが、安全のためご協力のほどよろしくお願い致します。

今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはとこま



タネツケバナ (アブラナ科)
種漬花、在来種

名前は種もみを水に漬け、苗代の準備をそろそろ花が咲くので種漬花の名があります。早春の彩の少ないこの季節、白い花は目に沁みるようです。田の畦や水辺に群生していますが、仙台周辺の田圃はほとんどミチタネツケバナが主体です。(駒野)



ミチタネツケバナ (アブラナ科)
道種漬花、外来種

近年、ミチタネツケバナ(ヨーロッパから東アジアに分布)が急速に範囲を広げてきています。1992年(平成4年)宮城県から日本海側で最初確認(※)され各地に広がりました。本種は乾燥地に適して、タネツケバナより早く咲きます。(駒野)
※日本帰化植物写真図鑑



オオバタネツケバナ (アブラナ科)
大葉種漬花

名前の由来は苗代に種籾(たねもみ)を播く前に水に浸ける頃に花が咲くので種漬花、オオバ(大葉)は頂小葉が大きいことからです。タネツケバナに比べ全体的にがっしりした感じです。園内では湿度の多い遊歩道沿いに白い花を咲かせています。(駒野)



コブシ (モクレン科)
辛夷・團打桜

名前は果実の形が手を握った拳のように見えることや、別名は花が咲くと田植えを始めたことに由来します。また辛夷は“しんい”とも読み、風邪などの生薬です。昔は花の時期で豊作か凶作を占った地方もあるそうです。アスレチック入口の斜面一面に白い花を咲かせます。(駒野)

県民の森名木紹介 vol.53 サンゴジュ

1号幹線と3号幹線の交差点の道沿いに、緑濃い数本の常緑樹が目につきます。サンゴジュです。秋に付ける赤い実の美しさが樹名の由来とか。葉は厚く水分を多く含むため防火樹として、垣根や公園、街路樹として親しまれています。

またこの科(レンブクソウ科)としては少ない高木になりますが、写真の樹も10m超の立派なものです。通りすがりにご覧ください。(工藤)



トビ (タカ科)

全長 59～69cm(メスの方が大きい)。上昇気流に乗って輪を描きながら飛び姿がよく見られます。他の鳥類を襲うことはほとんどなく、動物の死骸などを主に食べます。飛んでいる時の尾羽は三味線のバチに例えられ、また翼の下面に大きな白斑があることから、容易に識別できます。(入岡)



ノスリ (タカ科)

全長 52～57cm。園内でも飛び姿がよく見られます。下面は白っぽく翼に黒斑、腹部にノスリの腹巻といわれる茶褐色の太い帯があります。トビの尾羽はまっすぐ、もしくは中央が少しへこみますが、ノスリは尾羽が扇子の様にカーブを描いています。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「4月・5月のイベント情報」をご覧ください